



立教大学 ESD研究所

Research Center for Education for Sustainable Development, Rikkyo University

■活動目的■

ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)の研究および実践を行い、様々な社会問題(環境問題・人権問題・平和問題・貧困問題など)の解決に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献する。

■研究所の視座■

地域や社会、文化には、様々な価値観や多様性があることを人々に認知してもらい、それを受け入れてもらうためのESDを確立する。人文科学、社会科学、自然科学など、各研究分野の成果を積極的かつ柔軟に取り入れ、ESDを有効に機能させる。

- ・社会の諸問題を包括しうる理論の創出
- ・理論に基づいたプログラム・教材の開発
- ・実践活動によるESDの普及、理論の精査

■研究プロジェクト■

- ・生物多様性におけるESD
- ・地域におけるESDの導入
- ・HESD(高等教育におけるESD)研究ならびに学内におけるESDの推進
- ・国連ESDの10年とポスト10年の推進に向けた活動
- ・福島第一原発事故に対応したESDプログラムの開発
- ・ESDによる地域創生の推進

これまでのおもな活動と成果

2007年3月、日本初のESD研究機関として「立教大学ESD研究センター」を設立し、同年文部科学省オープン・リサーチ・センター事業に選定される。

2012年3月、同事業による活動を終え、同年4月より「立教大学ESD研究所」と名称を変更、恒常的な大学附置研究所として活動を進めている。

●10カ国以上におよぶ、サステナビリティに取り組む大学による国際ネットワークを形成。

●アジア・太平洋地域の主要機関を招いた国際シンポジウムを開催。ESDの成果と課題を共有し、連携体制を構築。

●「地元学」「ESD拠点としての自然学校」などを事例にESDネットワークを構築、本研究所はハブとして機能。

●ESDやサステナビリティの考えを広く一般に普及する活動「Eco Opera!」を展開。

●ESDの国際研究誌『J. of HESD』アジア特集号の刊行(各国の研究者を組織し、本研究所が編集)。

●段階的(導入・理論・実践)にESDを学べる講座を、立教大学全学共通カリキュラム、異文化コミュニケーション研究科内に開設。

●ESD関連書籍の刊行～『アジア・太平洋地域のESD』『次世代CSRとESD』他。

●東日本大震災に対応し、講演会、シンポジウム、ESDプログラムの開発を実施。

●高等教育機関のネットワーク「HESDフォーラム」の設立。

●ESDに関心の高いステークホルダー(教育機関、民間団体、地域住民など)と連携し、ワークショップの手法などを開発。



- ・大学の社会的責任(USR)の一つとしてESDを導入する社会的潮流を生み出す。
- ・国内外の研究教育機関、国際・地域・国家・地方機関、企業・NGO・NPOなどとのESDにおける連携・協働を生み出し、本研究所のプロジェクトが追求してきた産公学連携による高度職業人養成に繋げる。
- ・国内外でのワークショップの実施によりESDの重要性と導入意義を高め、社会的認知促進に大きく貢献。

2016年のおもな活動と成果

● ESD × 地域創生

政府主導の「地方創生」がうたわれる中、長期的な視点に立った人づくりによる地域創生を目的として、持続可能な地域づくりの担い手を育てるための研究の一環として講演会やシンポジウムを開催し、ESD推進に向けた自治体との連携協定など学内外を問わず、さらなるESDの普及につながる活動を進めている。

<おもな講演会>

公開シンポジウム「ESD × 地域創生—地域創生に果たす人づくりの役割—」

「地方創生のための人づくりと外部人材の活用」

「緑のふるさと協力隊」から見る地域づくりと人づくり」

「やねだん(柳谷集落)」の取り組みから見る地域創生と人づくり」

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」(研究代表者・阿部治、平成27年～平成31年度)

● 池袋学

立教大学と東京芸術劇場による連携講座「池袋学」を2014年度より開講。池袋に住む人、池袋で働く人、学ぶ人、遊ぶ人—さまざまな人々とともに、池袋の歴史・文化・暮らしなど多様な視点から、これからの池袋を考え、独自の「池袋文化」の発信をめざす。

<おもな講演会>

「あらい(間)の街としての池袋、そして池袋モンパルナス」

『漫画少年』とキワ社の時代」

「スタジオ200」

「雑司が谷で「つながる」・「つなぐ」」

「池袋は鉄道から始まった」

「池袋は“演劇都市”になれるか」

「多文化共生の池袋」



● としまちプロジェクト

豊島区池袋西口地区の町会、商店会、NPO、企業、大学、自治体など、マルチステークホルダーがネットワークを構築し、運営協議会を設立。豊島区に暮らす人々が、プロジェクトの活動(「風土かふえ」等まちづくりイベント、まちづくり活動を担う人材育成)を通じて、住民間のつながりを深め、持続可能な地域社会のまちづくりを進めることをめざす。

